

# ラポーゼかわだ日帰り入館者300万人達成、

## レストランリニューアルオープンについて

ラポーゼかわだは、平成7年7月に地域の特性を生かした総合滞在型温泉宿泊施設として整備され、現在、福井県周遊・滞在型観光推進補助金を活用し、「伝統工芸の美技に触れる」を統一イメージに、利用する観光客の多様なニーズに応える宿泊拠点施設として整備しているところです。

日帰り入館者については平成14年度に100万人を、平成22年度に200万人を突破しており令和元年11月23日（土）に日帰り入館者が300万人を突破する見込みとなりました。

つきましては、300万人目の日帰り入浴利用者の来館が想定される11月23日（土）に日帰り入館者数300万人突破記念セレモニーを行います。

### ○ 日帰り入館者数300万人突破記念セレモニーについて

1. 開催日時 令和元年11月23日（土）午後1時15分～午後2時  
（セレモニーは10分程度で終了予定）
2. 開催場所 ラポーゼかわだ（住所：鯖江市上河内町19-37-2）
3. イベント内容 くす玉割り、記念品贈呈  
記念品：入浴券セット、越前漆器塗箸、メガネストラップなど

### ○ レストランリニューアルオープンについて

ラポーゼかわだでは、福井県周遊・滞在型観光推進事業を活用し整備を進めています。このたび、レストラン部分の改修工事が完了し、11月23日（土）よりリニューアルオープンいたします。新たに小上り席を配置するほか、越前漆器のパネルを設置するなど内装・インテリアに伝統工芸品を活用し、産地としての歴史・文化を感じながらご利用できる施設となりました。

### ※ラポーゼかわだ整備事業について（概要）

北陸新幹線の敦賀延伸や中部縦貫自動車道の開通などの高速交通ネットワークの整備などを見据え、アクセス性が大幅に向上することで、三大都市圏からの誘客のみならず、インバウンド観光の増加も期待されています。その中で、宿泊施設が少ない丹南エリアにおいて、宿泊者数増加を図るうえで重要な施設となるラポーゼかわだを「伝統工芸の美技に触れる」を統一イメージに、利用する観光客の多様なニーズに応える宿泊拠点として整備することで、観光客の滞在時間および観光消費額の増加を目指します。

### 【改修内容】

平成30年度：実施設計

令和元年度：新宿泊棟改修（和洋室の設置、休憩スペース整備、トイレの洋式化など）

厨房レストラン改修（設備入替え、収容人数の増加、内装・インテリア改修など）

令和2年度（予定）：ホール棟改修（案内サインの多言語化、フロント改修、観光案内機能強化など）

体験棟改修（新たな体験メニューの対応、設備改修など）